

阿賀野川の危険箇所の解消に向けて

～ JR羽越本線阿賀野川橋梁部の堤防がつながる ～

阿賀野市下里(さがり)地区にあるJR羽越本線阿賀野川橋梁と堤防との交差部は、計画上の堤防の高さが不足し、平成23年7月新潟・福島豪雨、令和元年東日本台風などの洪水では、水防団による土のう積が行われており、**阿賀野川で最も堤防から越流する危険性が高い箇所**となっています。

阿賀野川河川事務所では、この危険箇所の解消に向け、JR東日本と連携し『羽越本線洪水防止連携整備事業』として、**鉄道橋梁の一部架け替えを行った上で堤防の高さを確保する工事**に本年11月より着手しました。

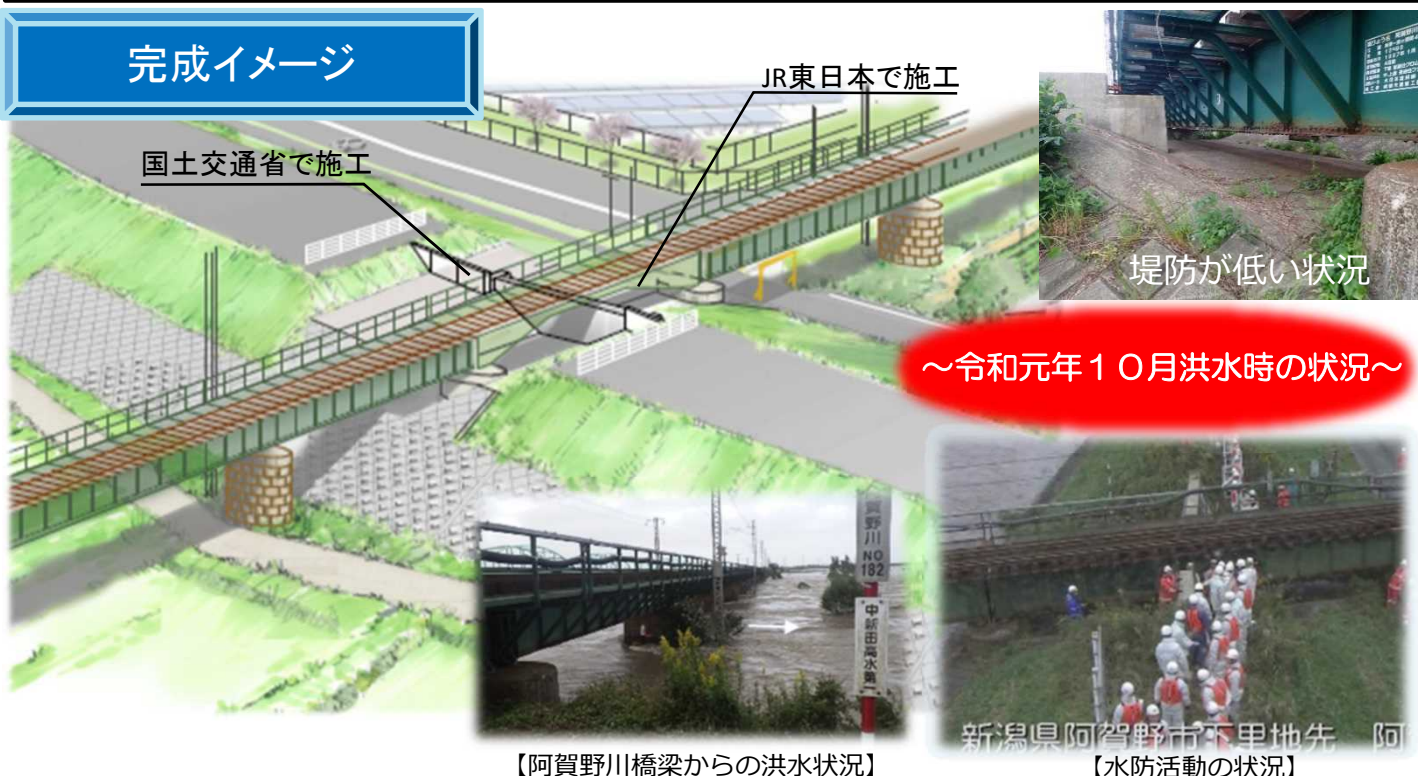
つきましては、下記の日時で現地説明会を開催します。当日は堤防の状況を現地でご覧いただけます。

現地説明会日時 ; 令和2年11月19日(木) 10:00～

集合場所 ; 阿賀野市内京ヶ瀬防災ステーション(別添地図参照)

取材いただける場合には問い合わせ先まで是非ご連絡ください。

完成イメージ



投げ込み先

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ

【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所

副所長(技術) 松井 涉

工務課長 外山 豊

〒956-0032 新潟市秋葉区南町14-28

電話 0250-22-2211(代)

事務所HP <http://www.hrr.mlit.go.jp/agano/>

事務所twitter https://twitter.com/mlit_aganogawa

『羽越本線洪水防止連携整備事業』

概要

■ 事業内容

本事業は、阿賀野川右岸(阿賀野市下里地区)において、JR羽越本線阿賀野川橋りょうと堤防との交差部の堤防の高さが低い箇所において、橋梁の一部区間を架け替え、堤防を拡幅しつつ橋桁下部の開口部を塞ぎ堤防を高くする事業です。

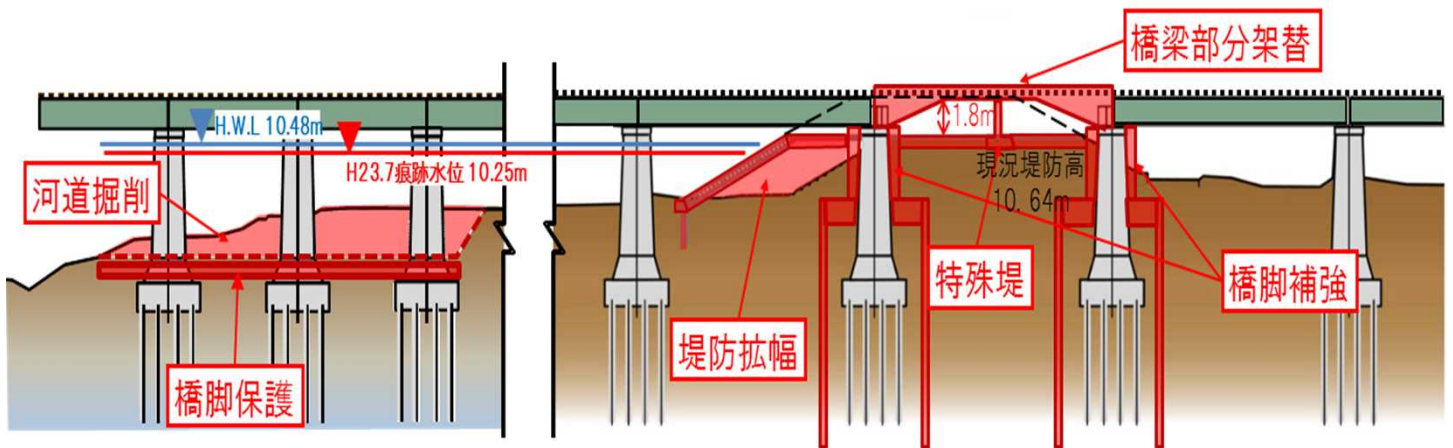
事業実施にあたっては、橋脚補強と橋梁の架け替え工事をJR東日本が、堤防の改築を阿賀野川河川事務所が連携して行います。



■ 事業実施内容

堤防拡幅、特殊堤(コンクリートの堤防)設置、橋脚補強、橋梁架け替え

※その他、「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」として、河道掘削、樹木伐採を実施し、洪水時の水位低下を図る工事を実施



■ 事業効果

- ・ 観測史上最高水位を記録した平成23年7月新潟・福島豪雨と同規模の洪水が発生しても、安全に洪水を流すことができます
- ・ 避難勧告発令の目安となる氾濫危険水位が、現在よりも高い水位に設定できることから、避難勧告回数が4割低減します。(1949年~2019年実績で10回から6回に減少)
- ・ 水防上必要な土のう積は3段を行う程度となり、平成23年新潟・福島豪雨時の1657袋に比べ9割弱削減されます。

平成23年7月洪水時の阿賀野川橋りょう



想定される被害



京ヶ瀬防災ステーション 位置図



地理院地図より

